

本日の検証について

2022年6月27日
広域系統整備委員会
コスト等検証小委員会事務局

- 2021年度は、東京中部間連系設備の変電所増強工事、佐久間東幹線増強工事の検証、および北海道本州間連系設備の変換所増強工事、送電線増強工事の検証を進めた。
- 2022年度は、東京中部間連系設備の東清水線新設工事の工事内容の検証、および北海道本州間連系設備の今別幹線増強工事の工事内容の検証を進める。

項目					2022年度				2023年度	
					第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	上期	下期
東京中部間 連系設備	新佐久間FC	電源開発NW	調達プロセス	済み						
			工事費・工期	済み						
	新富士変電所	東京電力PG	調達プロセス	済み						
			工事費・工期	済み						
	静岡変電所	中部電力PG	調達プロセス	済み						
			工事費・工期	済み						
	東清水線	東京電力PG	調達プロセス	済み						
			工事費・工期	4・5月	★	★				
	佐久間東幹線他	電源開発NW	調達プロセス	済み						
			工事費・工期	済み			★			
北海道本州 間連系設備	北斗変換所 今別変換所	北海道電力NW	調達プロセス	済み						
			工事費・工期	済み						
	北斗今別直流幹線	北海道電力NW	調達プロセス	済み						
			工事費・工期	2023年度					★	★
	今別幹線増強	東北電力NW	調達プロセス	済み						
			工事費・工期	5・6月	★	★				

【北海道本州間連系設備】

- 前回の委員会で、東北電力ネットワーク(株)から示された工事計画案に対する指摘は無かったものの以下の補足説明を行う。

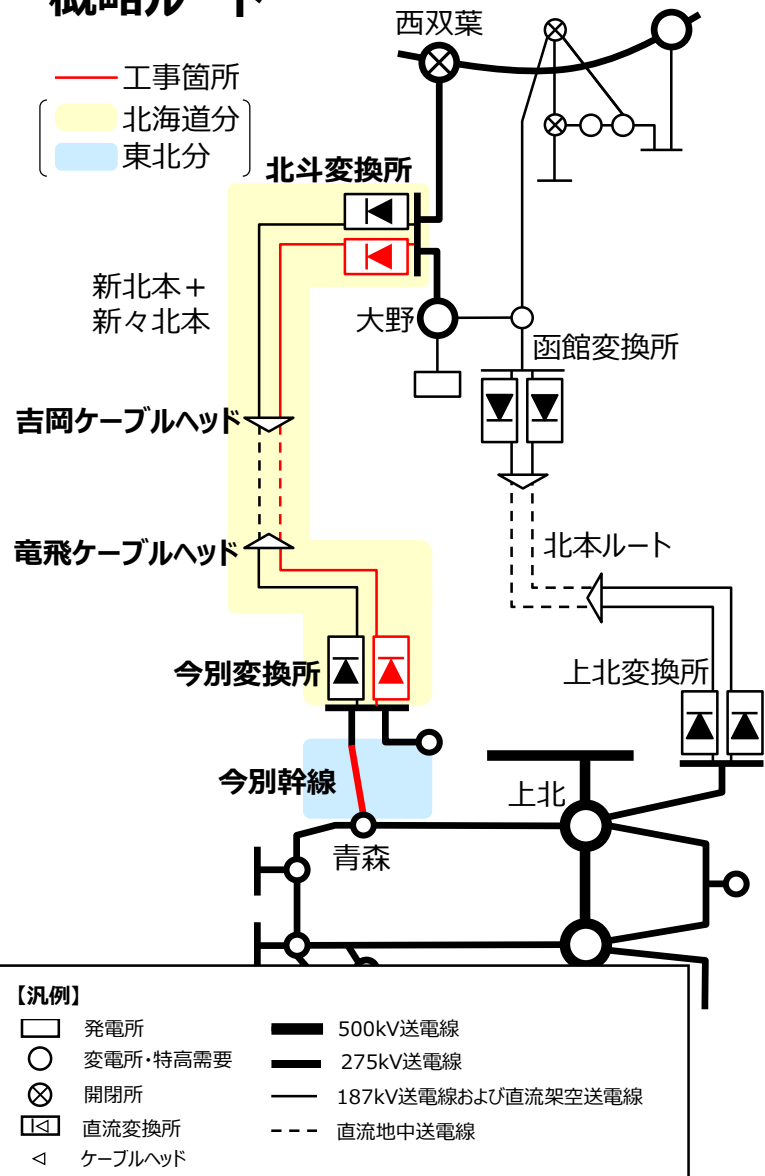
【補足説明内容】

- プレハブ架線工法の有効性について
- 広域系統整備計画と地内整備の背景について
- 今別幹線増強工事の工事費・工期について確認を行う。

【東京中部間連系設備】

- 電源開発送変電ネットワーク(株)が実施する佐久間東幹線他増強工事について、事業実施主体から、現時点では増額となる見込みである旨の提示がなされたため、その内容を説明するとともに、今後の進め方について議論する。

概略ルート



工事概要

工事区分		工事概要
交直 変換所 工事	北斗変換所	交直変換設備増設 300MW×1台 調相設備新設 STATCOM ±90Mvar×2台※
	今別変換所	交直変換設備増設 300MW×1台
送電線 工事	250kV 直流送電線 増設	鉄塔腕金取付 269基 北海道側 架空1回線 (1条) 77km 北海道本州間 地中1回線 (1条) 24km 本州側 架空1回線 (1条) 21km
	275kV 交流送電線 一部増強	今別幹線 架空1回線 39km 青森変電所 ～今別幹線No.124鉄塔

※ 交流過電圧対策として計画しているが、見積者の提案に応じて、設備および設備規模等は変更になる可能性がある
(9ページ参照、次回詳細説明)

● 広域連系系統<連系線と各エリアの基幹送電線(上位2電圧)>

